

**(仮称)青森市子ども総合計画策定にかかる
アンケート調査結果報告書
＜⑤ 地域・子ども関連団体用＞**

**平成27年9月
健康福祉部 子どもしあわせ課**

目次

1 調査の概要	
調査の概要	1
調査区域区分表	2
調査票の回収結果	3
2 調査結果	
問1 所属団体について	4
問2 所属団体の子どもに関する活動内容について	4
問3 活動を効果的に進めるために必要なことについて	5
問4 子ども自身、家庭、地域社会に望むことについて	6
問5 子ども・子育てに関するご意見・ご要望について	7
3 自由記載欄の意見一覧	8

1 調査の概要

調査の概要

1 目的

新たな子ども総合計画(H28年度～H32年度)の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新計画に反映させる。

2 調査票及び対象者数

⇒ 6種類、5,005件

① 就学前児童の保護者用	937件	}	2,000件
② 小学校1～6年生の保護者用	1,063件		
③ 小学校4～6年生用	613件	}	2,000件
④ 中学校1～高校3年生用	1,387件		
⑤ 地域・子ども関連団体用	786件		
⑥ 認定こども園・幼稚園・保育所(園)・学校関係者用	219件		

3 調査期間

平成27年7月21日(火)～平成27年8月20日(木)

4 調査方法

調査対象に応じたアンケート調査票を送付し、同封した返信用封筒による郵送での回答(無記名)

5 報告書の見方

① 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100にならない場合がある。

② 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選んだ人が全体からみて何%なのかという見方としているため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。

調査地域区分表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原(稲葉)、けやき、小柳、栄町、桜川、自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中心地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、東大野、緑、妙見、安田、八ツ役(矢作)
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区A	浅虫、泉野、後范、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区B	赤坂、桑原(山崎)、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、戸崎、戸山、蛭沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、野沢、細越、八ツ役(芦谷、上林)
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

調査票の回収結果

対象団体	送付数	有効 回収数	回収率
小・中学校PTA	65	15	23.1%
町(内)会・子ども会	469	217	46.3%
主任児童委員	59	25	42.4%
放課後児童会・放課後子ども教室・児童館・児童室	105	80	76.2%
子育てサークル・子育て支援関係団体	83	36	43.4%
その他	5	5	100.0%
合計	786	378	48.1%

2 調査結果

問1 あなたの所属団体に○をつけてください。

	件数	割合
1. 小学校PTA	10	2.6%
2. 中学校PTA	5	1.3%
3. 町(内)会	196	51.9%
4. 子ども会関係者	21	5.6%
5. 主任児童委員	25	6.6%
6. 児童厚生員	79	20.9%
7. 地域子育て支援センター	12	3.2%
8. 社会教育関係者	1	0.3%
9. 子育て支援関係団体	10	2.6%
10. 子育てサークル	10	2.6%
11. その他	9	2.4%
計	378	100.0%

問2 あなたの所属団体の子どもに関する活動内容についてご記入ください。

	活動内容
小学校PTA	学校行事の協力、環境整備、レクリエーション、防犯対策(登下校見守り)、資源回収、広報誌発行、情報交換、ベルマーク集計、除雪、プール監視など
中学校PTA	学校行事の協力、環境整備、レクリエーション、防犯対策(パトロール)、広報誌発行、情報交換、各委員会活動など
町(内)会	ラジオ体操、廃品回収、清掃活動、環境整備、交通安全活動、防犯対策、レクリエーション、学校・保育園行事参加・交流、防災訓練、子供会支援など
子ども会関係者	ラジオ体操、廃品回収、環境整備、交通安全活動、レクリエーション、学校行事参加・交流、季節行事など
主任児童委員	児童の見守り・家庭訪問、関係機関との情報交換、学校行事・町会行事への参加、交通安全活動、防犯活動など
児童厚生員	自主活動(学習・読書)、体験・交流、室内遊び・外遊び、季節行事、レクリエーション、効果後の子どもの居場所づくり、他団体との交流、地域交流・世代間交流など
地域子育て支援センター	子育て相談、育児講座、情報交換、遊び、サークル支援など
社会教育関係者	学習・読書等の自主活動、体験学習など
子育て支援関係団体	読み聞かせ、家庭訪問型子育て支援、親子交流、遊び、情報交換、イベント、講座など
子育てサークル	読み聞かせ、家庭訪問型子育て支援、親子交流、遊び、情報交換、レクリエーションなど
その他	読み聞かせ、育児相談、病児保育、レクリエーションなど

問3 あなたの所属団体の子どもに関する活動を効果的に進めるためには、何が重要だと思いますか。

	活動機会	場所	情報	資金	マン パワー	自己研修	関係機関 との連携	意識の 高揚	その他
小学校PTA	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	7 70.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
中学校PTA	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
町(内)会	11 5.6%	24 12.2%	25 12.8%	47 24.0%	85 43.4%	0 0.0%	11 5.6%	7 3.6%	24 12.2%
子ども会関係者	3 14.3%	6 28.6%	3 14.3%	5 23.8%	15 71.4%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	2 9.5%
主任児童委員	1 4.0%	1 4.0%	9 36.0%	1 4.0%	5 20.0%	1 4.0%	8 32.0%	2 8.0%	0 0.0%
児童厚生員	5 6.3%	21 26.6%	18 22.8%	40 50.6%	38 48.1%	5 6.3%	8 10.1%	2 2.5%	18 22.8%
地域子育て支援センター	4 33.3%	4 33.3%	7 58.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
社会教育関係者	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
子育て支援関係団体	1 10.0%	1 10.0%	6 60.0%	6 60.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
子育てサークル	0 0.0%	5 50.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
その他	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
計	28 7.4%	64 16.9%	74 19.6%	108 28.6%	166 43.9%	6 1.6%	35 9.3%	12 3.2%	47 12.4%

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

◆「マンパワー」(43.9%)と回答した団体が最も多くなっており、平成22年度(41.3%)から2.6ポイント増加している。以下「資金」(28.6%)－平成22年度(39.3%)から10.7ポイント減少－、「情報」(19.6%)－平成22年度(27.9%)から8.3ポイント減少－、「場所」(16.9%)－平成22年度(25.9%)から9.0ポイント減少－などとなっている。

問4 子ども自身、家庭、地域社会に求めたいこと、望むことはありますか。

①子ども自身

	件数	割合
親・大人との関係	18	4.8%
友達・仲間づくり	24	6.3%
異年齢児との交流	6	1.6%
社会性・道徳性を身につける(礼儀、言葉遣い、物事の善悪、ルールなど)	32	8.5%
基本的生活習慣の自立	29	7.7%
心の育ち(子どもらしさ、思いやり、やさしさなど)	66	17.5%
生きる力(夢、意欲、信頼など)	36	9.5%
行事・事業への参加(地域活動含む)	36	9.5%
ボランティアや体験活動の増加	20	5.3%
遊びの質・量の向上	25	6.6%
その他	15	4.0%
計	307	

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

②家庭

	件数	割合
親の子育て意識・姿勢	121	32.0%
子どものしつけ	41	10.8%
学校・放課後児童会・保育所などへの関心	31	8.2%
町内・地域への関心	77	20.4%
情報交換・情報提供	11	2.9%
その他	14	3.7%
計	295	

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

③地域社会

	件数	割合
地域パトロール、見守り、声かけなど	118	31.2%
道路整備、遊び場、公園の充実	23	6.1%
町会と家庭との協力体制、理解	82	21.7%
学校・放課後児童会・保育所などとの協力、理解	31	8.2%
ボランティア活動の充実	14	3.7%
保護者の意識	9	2.4%
その他	30	7.9%
計	307	

※着色した数値は回答率の上位1項目を表す。

- ◆子ども自身に対しては「心の育ち(子どもらしさ、思いやり、やさしさなど)」(17.5%)と回答した団体が最も多くなっており、平成22年度(28.8%)から11.3ポイント減少している。
- ◆家庭に対しては「親の子育て意識・姿勢」(32.0%)と回答した団体が最も多くなっており、平成22年度(52.4%)から20.4ポイント減少している。
- ◆地域社会に対しては「地域パトロール、見守り、声かけなど」(31.2%)と回答した団体が最も多くなっており、平成22年度(16.8%)から14.4ポイント増加している。

問5 子ども・子育て支援に関する行政サービスについて、ご要望、ご意見がありましたら、ご記入ください。
【自由記載】

	件数	割合
①情報提供に関すること	33	8.7%
②放課後児童会に関すること、放課後の子どもの居場所づくりに関すること	39	10.3%
③子どもの遊び場や遊具の充実・整備に関すること	24	6.3%
④子育てに関する経済的支援に関すること	11	2.9%
⑤子育てに関する講座や相談窓口の充実の充実に関すること	18	4.8%
⑥地域活動や子ども会活動に関すること	19	5.0%
⑦町会・各団体などへの経済的支援に関すること	21	5.6%
⑧行政(職員)の対応に関すること	19	5.0%
⑨保育所の拡充・整備に関すること	7	1.9%
⑩行政・地域・関係機関との連携に関すること	15	4.0%
⑪不登校や引きこもりに関すること	0	0.0%
⑫職場の理解や制度の改善に関すること	1	0.3%
⑬障がい者への支援に関すること	8	2.1%
⑭少子化対策・子どもを産み育てやすい環境に関すること	8	2.1%
⑮その他	40	10.6%
計	263	

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

3 自由記載欄の意見一覧

問5【記載内容】

①情報提供に関する事	
1	活動の活発な子供会の見学と指導者の講話、指導者育成の機会を実施してほしい。
2	子ども子育ての広報活動の強化
3	成功した例をおしえてほしい
4	各地域の好事例、効果などの情報提供
5	行政サービス等の内容をもっと市民に伝達してほしい
6	行政で行う援助についての情報が不足していると思います。
7	支援課、しあわせ課の業務が分かれたが、どこに行ってもどちらの情報も分かるようにしてほしい。とにかく2度手間や利用者(子連れや妊婦)が困らないようにしてほしい。行政との協働というのがもう少しやりやすく進んでほしい。行政の持っている民間情報を一元化→また市民への発信の仕方の工夫。
8	子供が割引になるサービス等の情報を提供してほしい。例えば、県の船舶体験学習支援事業は、陸奥湾フェリーに予約した際に初めて知った。おかげさまで助かったが、学校はともかく地域子供会などは、こうした支援事業をあまり知らないと思う。
9	当団体で行っている家庭訪問型子育て(HS)や、子育て中の母親のマンパワーを引き出すNPプログラムの周知など、広報あおもりに記載できると嬉しいです。行政と民間の活動の連携がスムーズに行えて、信頼関係がより一層構築される事を望みます。
10	指導者の巡回
11	サークルのチラシを置いてもらえる、提示してもらえる市内の場所を教えてください。
12	・子供育成担当者への講習会の実施 ・行事等に対する補助金の支給
13	指導者の育成が急務と思います。
14	行政が、四季(春夏秋冬)それぞれ短い期間でも、大人と子と一緒に気軽に団体運動をする機会のサンプルの様なものをいくつか出してくれれば、非常によい参考になると思う。
15	子供会活動の知恵袋的にノウハウを提供して欲しい。行けるかどうか分らないが勉強会とか。紙芝居、読み聞かせ、手品などできる人材の紹介や派遣など。
16	他地域の活動の情報をお願いしたい
17	専門員の派遣
18	保護者に対する支援に関する行政サービスなどの広報等が足りないと思います。
19	参考になる情報を何らかの形で知りたい(模範事例の紹介等)。
20	色んな活動の講師の紹介
21	遊具の整備、よき指導者の活用
22	全員に分るよう指示は全て文章にしてほしい
23	町内単位でも良いので、小学校入学世帯の紹介をする。又は閲覧できる場があれば良いと思う。どこの家庭で何才の子がいるのか。
24	情報が不足していること。やってもらいたい事があつたら見本資料等を提供するべきです。あとからでは2度手間です。幼児教育の資料だけでなく、小学生の活動は低学年、高学年と分けなければならない所とそうできない所もある。いろいろ毎月提出物も多いが、はぶける所は省き、その分子供と向き合った活動を考えたい。
25	子育て支援に関する研修の機会がもっとほしい
26	研修機会の充実を図っていただきたいです。
27	子育て支援に関する研修時間を設けてほしい
28	指導者にむけた研修を多く開催して欲しい
29	研修の場を作ってほしいです。
30	関係する助成金事業の情報が伝わり易くなって欲しい。
31	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
32	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
33	活動状況がわからないので広報にでも載せてもらえればありがたいです。
②放課後児童会に関する事、放課後の子どもの居場所づくりに関する事	
1	その学校、地域に応じた対応をして欲しい。(今年から各学校に「放課後子ども教室」と「放課後児童会」を設置したが、実情にあっていない。再検討すべき。)
2	最近、母子家庭が多くなっている。原因は離婚が多いことです。その親は夜遅くまで働いている。子供が下校してから親が仕事から帰るまでの支援を行政にお願いしたい。
3	学校終了後の児童館、公民館等の充実
4	児童館のあり方、空き教室の利用。まずは子どもの側から考えてみたい。
5	小学校ではじまった放課後教室等で、カギっ子(うちに1人)にも愛情がそそげるところがあると、子どもは嬉しいだろうなあと感じました(一番は愛情)。
6	休息、休憩をきちんと取りたい

7	現場で活動していて必要な物品をスムーズに確保できるように流れを作って欲しいです。注文してもすぐに物品が届かないのでちょっと不便です。
8	国では児童10人以下の場合は支援員や指導員が一人で良いとされているのに、今年度から10人以下でも2人で支援することになり、国と市とでは違う体勢に疑問を感じている。
9	経済面で格差社会になり共働きが多くなっている現状から、保育施設の充実と学童等の鍵子にならない支援が必要。
10	子供をお預かりする環境の安定
11	支援員の増員をお願いします
12	新採用の場合、最初から各児童会へ配属するのではなく、事前に研修会などを設けて仕事内容がある程度確認の上での採用が望ましいように思う。月案などの記入の仕方も指導してほしい。
13	おやつを提供してほしいです(18時頃までいる子はお腹がすいてしまうので)。
14	小学校の中に児童会と子ども教室が別々に活動をする意味があるのか？幼稚園と保育園ですらこども園になりより子どものために進んでいるというのに、小学校でのあり方がよくわからない。そしてすぐ予算がないというのであれば児童会と子ども教室を1つにできればもっと子どものためではないでしょうか。
15	担当の行政が違っているので細かい事について書きませんが、それぞれの現場を見に来て現状を把握してほしいです。それぞれの状況にあった支援、サービスを行えるようにしていただけると助かります。行政全体的に担当者が変われば考え方も変わり対応も変わるのには中途半端な支援しかできなくなります。
16	政府の方針なのでしょうが、児童会・子ども教室の2施設の設置は不平等を感じえません。働く親の為(児童会)であり、曜日時間の短縮(子ども教室)はこれ自体働く親の子、そうでない親の子と別けられ「子どもの権利・人権」は平等といえるのだろうか。どちらも同じ過程において実施されての「子どもの権利」なのではないかとおもいます。
17	新人採用時にはある程度の仕事内容を確認させ、研修などをした上での配属としてほしい。年間指導計画、月間指導計画と書き方が具体的に分らないまま次から次へと提出しなければならないので指導してほしい。
18	・行政担当者は各児童会に直接出向き、見学し、現場での意見を聞く事(困っている事など)。それにあった人材、教材の提供。・支援員の待遇。昼食の取り方、休暇の取り方等場所によって一長一短はありますが、あいまいでなく、どこに移動してもいい様に支援員の就業規律等、目に見える文書にして作ってほしい。
19	子供教室と、放課後児童会の重複を感じております。(活動内容、時間など)
20	児童会ごとに自分で使える予算があれば、おもちゃの購入、本の購入(リサイクルショップ利用)など、活動をもっとスムーズに豊かに進めることが出来ると思う。
21	支援学級の児童の受け入れに当たって、専門的な知識のある人を児童会へ配属してほしい。
22	衛生面。じゅうたんのクリーニングが少なすぎる。半年か年に1度にして欲しい。あるいは数年(3~5)毎に買い替えるなど。ストーブのメンテナンスを毎年して欲しい。
23	医療費の無償化が進んできたことについては嬉しく思います。ただ行政サービス(保育時間や放課後こども教室の終了時間)は時間帯が短い上に、土日祝日は休みという点が多く見られます。働き方が多様化しているのですから、行政側の運営も多様化を図らない限り少子化は益々加速すると思います。また教育現場において大都市との格差をなくするような手厚い指導を望みます。
24	私達の子ども会は児童館と一緒にしています。児童館の先生達が負担にならない様に人数や資金面でもぜひ協力していただきたいと思っています。
25	支援員をふやして欲しい
26	同じような児童を取り巻く環境が多く、保護者、大人は違いがよくわからない。1つにまとまれないものか。児童の数も減少する中で、組織を効率的にまとめれば理解も得られて、働く人も充実すると思います。行政が個々バラバラに行っているようにしかみうけられない。
27	・生活改善(環境)例えばカーテン取り付け、網戸取付など ・児童用図書購入 ・公共機関にある休眠状態の本の活用 ・大きめのカラーボックスや棚の要望
28	施設の建設上の安全・安心への配慮
29	とりあえず開催した子ども教室みたいな感じがします。きちんと決まったことが少ない(運営方法)のでコーディネーター、スタッフは苦労の連続。賃金(謝金)が働いても削られる。不満も出ています。
30	特別支援が必要な児童が見られます。その対応に指導員がかなり労力を使っているのが実態です。人的支援はもちろんのこと、学校、家庭と連携して他の児童に支障が出ないような配慮も大切なサービスだと考えます。
31	現場との温度差を強く感じています。
32	国の方針で子ども教室と児童会が1学校に1つずつ開設する方向でH27年度進んでいます。この2つは本当に必要ですか？学校の規模、状況によりどちらか1つで充分という学校もあったのでは。国の方針を全て受け入れるのではなく、青森市の特徴を生かして進めて欲しかった。そのほうが資金もうまく生かされたのではないのでしょうか。
33	もっと現場の声を聞いて欲しい。
34	運営にあたって遊具、玩具の提供をしてほしい。
35	子ども達が十分活動できるような教材と、適正な場所がほしい。
36	児童数、障害児の数に対する支援員の配置数をマニュアル通りとせず、認定はされていなくても問題行動のある児童に対しても場合によっては加配できるような体制が望ましい。施設選択においては、児童数に対するトイレの数に配慮してほしい。

37	放課後児童会と放課後子ども会は、国の行政区分が違いますが似たような活動をしている。子ども達の放課後の居場所が増える事は大いに賛成であるが、今回のように教室の大幅増加は適切であったかどうかは疑問。特に予算が少ないのであれば、徐々に増やすべきではないか。また、放課後児童会と放課後子ども教室の一本化を試験的に目指している例もあると聞かされたが、それは自然ではないだろうか。放課後子ども教室への市民図書館の本の貸し出しなどはできないものだろうか。社会教育課からは無理だと言われたが。
38	地域性を重視したサービス(どこの地域も同じようなやり方では合わない)。
39	情報が不足していること。やってもらいたい事があつたら見本資料等を提供すべきです。あとからでは2度手間です。幼児教育の資料だけでなく、小学生の活動は低学年、高学年と分けなければならない所とそうできない所もある。いろいろ毎月提出物も多いが、はぶける所は省き、その分子供と向き合った活動を考えたい。
③子どもの遊び場や遊具の充実・整備に関する事	
1	子どもが近所でのびのびと過ごせるよう町内にもっと小公園を増やし、自然環境(樹木)を豊かにして欲しい。
2	野木和公園にも子供達の活動する場所(建物)がほしい。
3	子供が遊べる広場(水、トイレ設備)がほしい。
4	公園などないため、町会の空き地を借りている。ラジオ体操の音もうるさいと苦情がきている。
5	冬に子ども達が気軽に安心して遊べる様な場所をもっと増やしてほしい。駐車料金や入場料金などのいらぬ場所。
6	公園の整備。子どもたち主体に事業をやる時の資金援助を。
7	子供達の遊ぶ場所がなく、道路で遊ぶしかない状態です。安心して遊べる場所が有つたらいいです。
8	公園の遊具がほしい
9	子供達が安心して遊ぶ公園。高校生までの学費を無料化。
10	内外の遊具の充実
11	遊び場所等、子どもの居場所の拡充と専業主婦のママ達が小さい子と共に過ごすための〇〇室の整備(市民センター内に広くスペースをとる)。
12	地域全体で子どもの成長を見守ることができる集会所があると、より活発な地域活動ができると思います。
13	自転車の練習、遊び、散歩等、車で遠くまで出かけないと安心して子ども達が走り回れる場所がないので、近所に広場か公園があれば良いと思う。
14	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
15	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
16	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
17	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
18	子どもが遊んだり楽しんだりできるよう、もっと簡単に公の体育館や市民センターを開放してほしい。
19	季節を問わず子どもたちが利用できる施設(無料)例えばプール(流れるプール、スライダー)、冬場のための室内公園。
20	子どもが遊べるサッカーゴール、バスケットゴール等を公園に増やして欲しい。
21	遊具の充実。地域の状況を見てサービスをして欲しい。
22	夏場は出かけて行き活動出来る場所があるのですが、冬場は室内での活動を余儀なくされるのでその場所がなく、もっと障害の子たちが活動できる場所が欲しいです。
23	遊具の整備、よき指導者の活用
24	運営にあたって遊具、玩具の提供をしてほしい。
④子育てに関する経済的支援に関する事	
1	貧困の連鎖などが問題になっている。貧しい家庭に育つ子は貧しくなるということはある。その連鎖を断ち切る事が行政の仕事である。貧しい家庭の子であっても教育の選択など色々な可能性のある環境づくりが急務と考える。
2	安心して子育てが出来ると環境作りだと思います。今の状態だと子育てに掛かる費用が多くて安心して3人~4人と子どもを産むことが出来ないと思います。ご主人の働きで子育て、教育が出来ようでなければ青森の人口を増やすことが出来ない。又、子供が大きくなって社会に出て働く場所を増やす政治力が無いので、安心して子供を産めないと思う。
3	結婚して生まれてくる子どもが何人できても経済的に苦痛を感じさせない行政のサービスを実現して欲しい。
4	最近の子供の養育に金を掛け過ぎではないかと思う。そのことが少子化の要因では?子供の数が少なくなるのは、地域の崩壊にもつながり心配です。もっと子供を多く生めるよう、なんらかの支援が必要ではないか。昔のように子供達が元気で、思いっきり走り回って遊べるような環境作りを是非お願いします。
5	青森市の子ども医療費助成はとても助かっている。今後も今の制度が無くならないでほしい。市内の保育園で行っている子育て支援事業、もっと多くの場所で行ってもらえると嬉しい。自家用車がないため、参加したくても移動手段がない方もいます。1つの保育園だけでなく、ちまわりで様々な保育園を回ってイベントを開く等。
6	義務教育の無償化
7	母子家庭には保育料無料にしてほしい。祖父母の収入も見られるので一緒に住んでいる場合でも。
8	・家庭の経済状態によって学ぶ機会に格差ができないよう援助や相談機能を厚くしていただきたいです。・地域の子どものための成長のために、自分なりの特技や時間を生かしたいと思っている大人たちがボランティアなどができる場のコーディネート機能があると嬉しいです。

9	青森市と弘前市を比べると学校のIT設備に関して弘前市の方が充実しているように思う。その他、妊婦健診や予防接種(インフルエンザ)の助成も行っているの、青森市でも同じ様にしてもらえたら子育てしやすい地域になると思います。
10	子供達が安心して遊ぶ公園。高校生までの学費を無料化。
11	医療費の無償化が進んできたことについては嬉しく思います。ただ行政サービス(保育時間や放課後こども教室の終了時間)は時間帯が短い上に、土日祝日は休みという点が多く見られます。働き方が多様化しているのですから、行政側の運営も多様化を図らない限り少子化は益々加速すると思います。また教育現場において大都市との格差をなくすような手厚い指導を望みます。
⑤子育てに関する講座や相談窓口の充実の充実に関すること	
1	子どもは親を気にされている様に思います。支援が必要であれば親を指導、導いてほしいと思います。
2	子供の親(育成)の指導が大事と思う
3	支援センターをより利用しやすくするために、駐車場等を充実させてほしい。
4	子供の健全育成には、行政も積極的に関わるべく、子供が参加できる行事を作してほしい。
5	気軽に参加できる小イベントを多く開催して欲しい。
6	子育て支援よりも親支援
7	子育てメイトの活動を継続して、強化、支援してほしい
8	悩み事、困り事等の相談窓口を充実させる。
9	子を持つ親同士の子供化が散見される。行動が子供と同じ形になっている場合が多々あるように思える。
10	子育てをするお父さんお母さん達の情報交換の場所や機会を設け、子育てに対する悩みを少しでもなくせる、そんなサービスを検討してほしい。
11	子育て支援の場所が多くあるといいと思います。
12	支援メニューの整理統合
13	子どもたちが気軽に参加できるイベント等がもっと欲しい。
14	青森市の子ども医療費助成はとても助かっている。今後も今の制度が無くならないでほしい。市内の保育園で行っている子育て支援事業、もっと多くの場所で行ってもらえるとうれしい。自家用車がないため、参加したくても移動手段がない方もいます。1つの保育園だけでなく、もちまわりで様々な保育園を回ってイベントを開く等。
15	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
16	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
17	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
18	子どもが安心してあそべる施設や場所。親子で参加できるイベント。
⑥地域活動や子ども会活動に関すること	
1	子ども、子育て支援に限らず市役所職員、OBを含め町会活動には一切無関心、参加もしない。役員に名前を連ねること考えられない。行政の職員とは地域においても協調するという意識を持つべきと感じます。
2	地域にある地域館の使い方を考える。1週間に1日でも入園前の親子同士がふれあえる機会(場)を作りたい。
3	地域(町会)に行政のほうから講演をしてほしい。「子どもと地域のつながり」について。各事業体に子どもある親に対する休暇願の取得の緩和要請、子どもの将来展望を見据えるテーマで。
4	地域の民生児童委員の皆さんに、民生委員の仕事だけでなく児童委員としての指導についても、さらに協力して頂くよう行政としてお話をさせて頂きたい。
5	積極的な活動に対しては、資金援助や協力、アドバイスを頂きたい。
6	地域全体での事業を持つ。各種団体と一緒に事業展開必要。そのための資金、援助必要。
7	子ども会への行事の誘いなどあったらうれしいです。例:大型客船の見学など
8	連続でなく単発の行事(みんなと集まる)を企画しそってほしい。
9	行政への要望もあるが、現状では当町会(保護者)が子ども会の在り方を真剣に考え、地域に呼びかけて体制作りを強化することが大事と考えている。
10	夏休み、冬休みの間に、子供達の体験教室などを設け、他の子供達とのかかわりを大切にしていきたいと思う。
11	児童館の無い地域で公民館がある場合、公民館を児童館の役割をになう様にすること(体制)。
12	小・中・高の生徒・PTAへ地域活動への参加を呼びかけてほしい
13	行政サービスとは違うが、小さな町会でありながら2つの小学校に分かれ通学している(通学距離関係なく)。それに伴い町会行事、子供会運営に支障が出ている様に思われる。
14	教育委員会への要望になりますが、小学生から部活のため、県外へ遠征など保護者の負担が大きいことを理解していただきたい。個人情報を出せないと云うことで、町内の子供達が何処の学校へ通学しているか、何年生なのかの情報が学校から得られない。町会独自に把握して、子供会活動を支援して行かねばならない現状にあります。
15	若い公務員等を地域活動へ積極的に参加、協力するよう奨励してほしい。今は各村の行事の行い方を参考にすることがある。
16	地域とのかかわりをもっと進めるよう指導していただければと思います。
17	児童館等の充実を図り、子供達への各種事業を推進する。

18	小学校の高学年から中学校の生徒達は部活動で明け暮れている。当然、両親も休みの日等は側面から参加、地域行事に参加する余裕などない。町会での子供会への参加、各行事への参加指導できないものか？点と線の地域での生活だけでもっと面での生活が多くていいのでは。
19	親子で気軽に参加出来るイベントがあるとうれしいです。
⑦町会・各団体などへの経済的支援に関すること	
1	市子連としていつも考える事は宿泊する所がないので遠出になります。交通費が大変。青森市にも宿泊する所が欲しいです(子ども達の事はどうでもよいのですか)。
2	助成金が増えるとありがたいです。
3	青森市の子連の役員をしているが、市からの助成金が少ない。
4	カレー作りの3000~5000円位の資金、あきかん遊びに必要なひも代、ゴミ袋など、行事の安全を考え(1人50円位の保険代)、多少必要と思います。
5	団体で参加できるような行事を案内してほしい。活動にあたり、資金の足しになるような助成金があれば、助かります。
6	地域の各種行事にもっと資金を増やしてほしい
7	準備段階での予算があればと思います。消耗品は準備して頂きましたがその他(くつ置き場、ゴミ類他)を準備するのにスタッフが購入することになりました。
8	運営資金をもっと増やしてほしい
9	町内会の世帯数が減り、自由に使用できるお金が減っており、財政の支援をお願いします。
10	予算を増やし、環境を整えてほしい。保護者が何を望んでいるのか把握し、現場に伝える。行政と現場の状況とズレがないか、現場の意見をよく聞いてほしい。
11	行政に対しては特別要望はないが、大きな催し物の場合には補助的な支援をお願いしたい。
12	市地域コミュニティ活性化事業補助金制度の内容拡充に感謝している。良いアイデアだと思います。
13	各活動への支援(簡単な手続きでの助成金、支援)
14	自己資金では限界があるので予算を各園に出してほしい。
15	積極的な活動に対しては、資金援助や協力、アドバイスを頂きたい。
16	地域全体での事業を持つ。各種団体と一緒にの事業展開必要。そのための資金、援助必要。
17	・子供育成担当者への講習会の実施 ・行事等に対する補助金の支給
18	公園の整備。子どもたち主体に事業をやる時の資金援助を。
19	児童会ごとに自分で使える予算があれば、おもちゃの購入、本の購入(リサイクルショップ利用)など、活動をもっとスムーズに豊かに進めることが出来ると思う。
20	私達の子ども会は児童館と一緒にを行っています。児童館の先生達が負担にならない様に人数や資金面でもぜひ協力していただきたいと思っています。
21	とりあえず開催した子ども教室みたいな感じがします。きちんと決まったことが少ない(運営方法)のでコーディネーター、スタッフは苦勞の連続。賃金(謝金)が働いても削られる。不満も出ています。
⑧行政(職員)の対応に関すること	
1	机上の仕事だけでなくもっと外に出て現状を把握して下さい。
2	学区単位(小学校)でもっとキメ細かな対応して下さい。
3	行政の発想に常に頭が下がる思いだが、大半はデスクワークの一部でしかなく、一元的なもの多く継続する力を貸して頂きたい。
4	何をしても事務的な手続きがとても面倒なので、行政サービスや支援を受ける事を遠慮してしまいます。もっと易しくサービスを受けられるように、事務手続きを簡単にしたい。
5	各市町村の特性をいかす政策を。このようにアンケートで声をいかにす。
6	書類配布だけでなく、地域社会に直接訪問して指導して欲しい。
7	子供達が大人になっても家庭に残れる様な行政であること。
8	町会、地域ボランティアにたより過ぎている。行政がすべきことまで依頼していることがある。通学路の除雪対応が悪い。除雪には有料でシルバーパワーの活用も考えて。
9	行政サービスはもっと市職員1人1人がスピード感をもって働いてほしい。
10	行政サービス等については、担当職員の知識を高めるよう努力してほしい
11	常に、効果的な施策を追及しながら最大限の予算執行に配慮していただきたい。
12	委員になって2年だが、市の対応は早いが見相の対応は消極的でこちらが思ったような対応が得られない印象を受ける。見相が動きにくいのであれば、又、私たちが求めている事が思いがちなのであれば、どこまでなのか線引きがほしい。生命にかかわる部分のみなのか？
13	臨機応変に
14	学校又は行政の細かい所までの支援体制のなにかよい方法があれば良い。
15	アンケートで対応せず、みずから出向いて調査して欲しい。
16	策定後に検証し実行力を高める努力を市民が認められるように。
17	表面的なことばかりでなく、もっと子供の生活に密着したもう一歩踏み込んだ支援をしていただけたらと思います。
18	行政はマニュアル通りにしか動けない事がほとんど。もっと現場的・実質的に出来るやり方を考えてほしいです。
19	行政はマニュアル通りにしか動けない事がほとんど。もっと現場的・実質的に出来るやり方を考えてほしいです。

⑨ 保育所の拡充・整備に関すること	
1	子供は社会の宝であるとのPRを大いに進めてほしい。保育園等での子供の声がうるさいなどの苦情は、昔は考えられなかった。
2	社会の中で子供を見守ることが求められている。保育の面で、福祉の充実を強く求める。これからの日本の社会をとて不安に思います。
3	保育所の待機がないようにして欲しい。近くに保育所があっても入所待ちがある。
4	経済面で格差社会に共働きが多くなっている現状から、保育施設の充実と学童等の鍵子にならない支援が必要。
5	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
6	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
7	医療費の無償化が進んできたことについては嬉しく思います。ただ行政サービス(保育時間や放課後こども教室の終了時間)は時間帯が短い上に、土日祝日は休みという点が多く見られます。働き方が多様化しているのですから、行政側の運営も多様化を図らない限り少子化は益々加速すると思います。また教育現場において大都市との格差をなくすような手厚い指導を望みます。
⑩ 行政・地域・関係機関との連携に関すること	
1	たくさんありすぎて書ききれない。子ども会活動者として行政との意見交換等の機会があれば参加したい。
2	小学校との連携が必要と思われる。
3	いろいろな団体等と行政の横のつながりを持つ事で市内の活動がよりよくまとまると思う。青森市はすべてにまとまりがないと思います。
4	行政自体(教育委員会と)子どもに対する支援を一本化する必要がある
5	子どもに関わる色々な人達のネットワークを充実させ、安心して子どもを育てられる地域になればいいなと思います。
6	子ども会活動に小学校がかかわっていないのは納得できない。学校サイドがかかわっていないため、保護者の活動がない。
7	町会を越えた広域的な取組みに対する助成
8	当団体で行っている家庭訪問型子育て(HS)や、子育て中の母親のマンパワーを引き出すNPプログラムの周知など、広報あおもりに記載できると嬉しいです。行政と民間の活動の連携がスムーズに行えて、信頼関係がより一層構築される事を望みます。
9	予算を増やし、環境を整えてほしい。保護者が何を望んでいるのか把握し、現場に伝える。行政と現場の状況とズレがないか、現場の意見をよく聞いてほしい。
10	新採用の場合、最初から各児童会へ配属するのではなく、事前に研修会などを設けて仕事内容をある程度確認の上での採用が望ましいように思う。月案などの記入の仕方も指導してほしい。
11	新人採用時にはある程度の仕事内容を確認させ、研修などをした上での配属としてほしい。年間指導計画、月間指導計画と書き方が具体的に分からないまま次から次へと提出しなければならないので指導してほしい。
12	・行政担当者は各児童会に直接出向き、見学し、現場での意見を聞く事(困っている事など)。それにあった人材、教材の提供。・支援員の待遇。昼食の取り方、休暇の取り方等場所によって一長一短はありますが、あいまいでなく、どこに移動してもいい様に支援員の就業規律等、目に見える文書にして作ってほしい。
13	特別支援が必要な児童が見られます。その対応に指導員がかなり労力を使っているのが実態です。人的支援はもちろんのこと、学校、家庭と連携して他の児童に支障が出ないような配慮も大切なサービスだと考えます。
14	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
15	必要としてくれる人に情報や保育の機会などが十分に生き届くような社会全体での協力体制を整えていってほしい。
⑪ 不登校や引きこもりに関すること	
⑫ 職場の理解や制度の改善に関すること	
1	地域(町会)に行政のほうから講演をしてほしい。「子どもと地域のつながり」について。各事業体に子どもある親に対する休暇願の取得の緩和要請、子どもの将来展望を見据えるテーマで。
⑬ 障がい者への支援に関すること	
1	障害を持つお子さんの保護者の方たちの一番の願いは、親元のを離れても(親が亡くなっても)、お子さん達が安心して生活していける環境を整えていくことだと思います。生活を支えるサービスの拡充が、これまで以上に必要となってきたように思います。
2	支援(障害)を必要とする子どもを受け入れるための人員を確保するために経済的な支援が必要です。
3	障害者団体として障害のある子供に対してのことばかり記入しました。表にも出られない障害のある子供達のことにもならず、機会を与えてくださるよう希望します。
4	障がい児に対しての生まれてから就学までの選択肢がわかりやすいように保護者に示してほしい。特に重度の障がい児についてはどのようにすればよいかかわらなかつたという声があります。とぎれない支援をしていただきたいと思っています。
5	支援学級の児童の受け入れに当たって、専門的な知識のある人を児童会へ配属してほしい。
6	児童数、障害児の数に対する支援員の配置数をマニュアル通りとせず、認定はされていなくても問題行動のある児童に対しても場合によっては加配できるような体制が望ましい。施設選択においては、児童数に対するトイレの数に配慮してほしい。

7	夏場は出かけて行き活動出来る場所があるのですが、冬場は室内での活動を余儀なくされるのでその場所がなく、もっと障害の子たちが活動できる場所が欲しいです。
8	特別支援が必要な児童が見られます。その対応に指導員がかなり労力を使っているのが実態です。人的支援はもちろんのこと、学校、家庭と連携して他の児童に支障が出ないような配慮も大切なサービスだと考えます。
⑭少子化対策・子どもを産み育てやすい環境に関すること	
1	・子供を生みやすい育てやすい環境づくりを行政として最重点事項として取り組んでほしい ・自転車の無謀運転が多いので小中学生にしっかり指導してほしい。
2	子どもの人数が少なくなり充実した活動ができなくなっている。限界集落に近付いてきている。人口(子ども)減に対する対策を考えてほしい。子どもの数が少なくなっているが、児童の学力等は素晴らしい。こんなよい状態の学校をなくしたくない。
3	少子化で参加する人数が年々少なくなっている。市社協の総合福祉活動にも参加しているので助かっている。
4	少子化の進行を抑制するための支援対策を考える。
5	地域によって要望が違うと思うが、小学校、中学校が無くなっている地域が多くなっています。何とかしなければと考えて下さい。
6	少子化対策、子育て支援に対して行政がもっと力を。
7	地域に学校がないため、元気な子供達の姿を見る機会が少なく、淋しい気がしている。地域の子供が増える対策を考えてもらいたい。
8	少子化の進行は、地域社会の活力低下や若年労働力の減少など、未来の発展に重大な影響を及ぼすほか、子ども自身の自主性や社会性を損なうなど、子どもの成長に与える影響をも心配されるものがあります。子どもたちに無理なく、無駄なく資源を提供し、活動しやすい環境づくりの手助けが必要と思う。
⑮その他	
1	安心して子育てが出来環境作りだと思います。今の状態だと子育てに掛かる費用が多くて安心して3人～4人と子どもを産むことが出来ないと思います。ご主人の働きで子育て、教育が出来ようであれば青森の人口を増やすことが出来ない。又、子供が大きくなって社会に出て働く場所を増やす政治力が無いので、安心して子供を産めないと思う。
2	町会、地域ボランティアにたより過ぎている。行政がすべきことまで依頼していることがある。通学路の除雪対応が悪い。除雪には有料でシルバーパワーの活用も考えて。
3	・家庭の経済状態によって学ぶ機会に格差ができないよう援助や相談機能を厚くしていただきたいです。 ・地域の子どもの成長のために、自分なりの特技や時間を生かしたいと思っている大人たちがボランティアなどができる場のコーディネート機能があるとうれしいです。
4	青森市と弘前市を比べると学校のIT設備に関して弘前市の方が充実しているように思う。その他、妊婦健診や予防接種(インフルエンザ)の助成も行っているの、青森市でも同じ様にしてもらえたら子育てしやすい地域になると思います。
5	医療費の無償化が進んできたことについては嬉しく思います。ただ行政サービス(保育時間や放課後こども教室の終了時間)は時間帯が短い上に、土日祝日は休みという点が多く見られます。働き方が多様化しているのですから、行政側の運営も多様化を図らない限り少子化は益々加速すると思います。また教育現場において大都市との格差をなくするような手厚い指導を望みます。
6	当町会は70世帯弱で子どもが少なく、世帯台帳も書いていただけない状態で把握できないでいる。
7	学校の統合も必要ですが、それに代わる子供達とふれあう場所が欲しい。
8	・子供を生みやすい育てやすい環境づくりを行政として最重点事項として取り組んでほしい ・自転車の無謀運転が多いので小中学生にしっかり指導してほしい。
9	当町会の子供は小学生生7名、中学生もほぼ同じ程度であり、特に子供対策はしていない高齢化町会である。
10	皆助け合って、他人の子供達でも面倒みれるよう行政サービスに期待しています。
11	子供に関することは行政が積極的に支援し、町会は子供、高齢者を常に見守り健全な育成を図る。
12	行政より各家庭で子供を教育する様に努力する事だと思う。
13	「こども総合計画」が解らない。
14	親の繋がりが子供に繋がると思う。
15	子供の声が聞こえない街は寂しい。
16	支援は大変良いことだが、本当に子育てのためにになっているのか検証が必要では。
17	冬期の歩道確保。冬期間歩行が危険な状態なので、冬期間だけ一方通行にする、又は横断歩道・信号の設置を望む。
18	子どもに関してきめ細かな対応を切望します。親も巻き込んで子どもたちがすくすくと成長できるようお願いしたい。
19	町会としても支援、助言をしている。市子連にも参画されているので今後に期待を寄せている。高校生のボランティアがあればよい。
20	必要なことは教育改革です。子供たちを正しく育てること、そして自立型人間に育てていくことだと思う。そして教師の質の向上だ。
21	子どもに最近あまりにも体験、体験が多すぎて、子ども自身自然に触れ、自分で工夫しての遊び方も知らない。家庭も地域の人達も考えるべきです。

22	・家庭内でのふれあい情報がない ・学校での子供活動が見えない ・20人学級位で子供と先生のふれあいを多くした教育
23	子供にも親にもコーチング活用したメンタル強化を図ってはどうか。
24	保育所、病院、学校、公民館など子どもが関わる全ての施設で働く大人が、まず人として誠実で優しく笑顔で接していただきたいと存じます。私達、助産師会では様々な相談にも応じておりますが、「親切にされて心にしみた」という人もいれば、「ひどい対応を受けた」と心を痛めている方も多くいます。接遇、思いやりに力を入れてほしいと思います。「子どもの最善の利益」子どものしあわせのため、健やかに育つための環境づくりのため、青森県助産師会も微力ながら協力させていただきたいと存じます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。
25	いろいろありすぎてかえって分かりにくい
26	子供は宝物です。大人、行政の責任において1人前にしたいものです。いろいろ機会を作って成長をうながす努力を期待します。
27	民間で活動している人達をもう少し支援してほしいです。良い事をやっている団体への協力。
28	本好きにする対策を(子ども図書の増量、図書室対策)。
29	非常に多忙と先生が話しているため、いろいろ疎かになっている感じがします。部活動で、各先生が担当しているが、担当のスポーツの経験が無くわからないのに指導するのはおかしいと思います。経験者(保護者や地域の人)に賃金を払って、指導者にしてもらいたい(非常勤の公務員を摘要、過激にならないよう指導)。先生は手当をもらっている。仕事量が減り、他の事に没頭できるのでは。休みも充実。
30	この様なアンケートは必要ないと思います。もっと学校の教職員及び市教育委員会に関わっている人の取組み等を責任をもって行動すべきである。
31	昔よりとても良くなっていると思います。子供を犯罪から守ることに、もっと重点をおいていってもらえればと思います。
32	子ども子育てにはもっと厳しく母親の教育が必要である。極端な母親は子供の仕付けが悪いのは学校で教えないからと言っている。
33	中途半端な学区制度を止めてほしい。(越境入学で地域の子供達の活動が分断されている)
34	・防犯カメラの設置。防犯灯の増設。 ・子供見守員の配置(巡回)の充実。交番・学校・地域(町会、コンビニ、店内)防犯、いじめ、虐待等の相談、発見、対応の充実。
35	子供をのびのびと生活させてやりたい
36	忙しい家庭事情でのPTA活動は難しいものもありますが、皆さんの協力のもと運営していく事になるので大変です。すべて子ども達のためということで理解が必要になります。
37	公共施設の無料化。有料の事業の場合、市民センターは使用できなかつたり割増料金になるので免除するなど、もっと子ども関係の事業をやすくしてほしい。
38	地域存続のためにも、子育てをしやすい町づくりは不可欠です。青森市の特性を生かして、固定概念にとらわれず青森スタイルを作り上げて欲しい。
39	小学校・中学校、学力が劣っていて、かつ学習塾など行けないような児童・生徒に指導する場所があってもいいのでは。このままでは将来もっと格差が広がっていくと思います。
40	給食メニューのオンライン発信。通学路、歩道の融雪化、もしくは優先的な除雪。